

## 日本海沿岸東北自動車道の整備促進について

北信越部会提出  
説明担当 新発田市

日本海沿岸東北自動車道は、日本海側を縦貫し、国土軸を形成する重要な路線であり、北陸、関越自動車道、東北縦貫自動車道と連携し、広域交流の促進はもとより、地域の個性を活かした新しい文化の創造と企業誘致、観光産業の振興など地域経済の発展に大きく寄与するものであります。

当路線は並行する一般国道7号等の交通混雑の緩和や新潟都市圏と県北地域との経済交流等による地域活性化を図る重要な路線であるとともに、県北地域の救命救急医療や災害時の支援物資の輸送に重要な役割を担う「命の道」でもあります。

現在、新潟中央JCTから朝日まほろばICまでが供用開始され、残る未整備区間であります新潟・山形県境区間の朝日まほろばICからあつみ温泉ICまでの40.8Kmについても平成25年5月に事業化され、悲願でありました全線開通に向けて大きく前進したところであります。

高速道路はネットワーク化されて初めて最大の効果を発揮することは言うまでもなく、特に、東日本大震災発災の際には、港湾をはじめとする基幹交通ネットワーク等の社会資本整備が太平洋側に偏っていたことによる災害時のリスク分散や代替機能の確保が不十分であることが顕在化しました。

とりわけ災害時において、日本海沿岸東北自動車道が、救援や復旧活動に大きな役割を果たしてきたことを踏まえても、安定した国民生活の確保や不断の経済活動を維持するためには、日本海側および太平洋側の2軸を国土軸とする基幹交通ネットワークの構築は重要であります。

このことから、安定した国民生活を維持継続するための強靱な国土を形成するため、また、様々なストック効果を発現させ、地方創生を一層加速させるためにも、一刻も早く日本海側と太平洋側を国土軸とする基幹交通ネットワークを完成させることが必要であり、県北地域における未整備区間については、早急な完成を図るよう下記のとおり強く要望いたします。

### 記

事業区間である新潟・山形県境の「朝日まほろばIC～あつみ温泉IC」間については、積極的に予算を投入し早急に完成するよう建設促進を図ること。